

緊急企画 「世界同時株安」勃発! 金融相場の転換点

# 週刊エコノミスト

2014

2/18

毎日新聞社  
定価600円

# FRBと日銀

## 次の一手

市場が催促する  
日銀「追加緩和」

「異次元緩和」で  
景気回復はない

採点・黒田日銀

各国外銀総裁はこう動く

ユーロ 英国 ブラジル インド

名門高校の校風と人脈 岡崎高校  
闘う中堅企業! 「盛和塾」塾生奮戦記

エコノミスト・レポート

外国人労働者に頼らない人手不足解消法

それでもイエレンは  
「縮小」続ける

黒田総裁が「出口」を  
封印する理由

投資戦略

金融政策が分かれば  
投資に勝てる!





近藤貞雄

東京大合格者を毎年、30〜40人出している高校である。私立や国立の中高一貫校が上位を占め、都道府県立や市区立のいわゆる公立高校は、東大入試で劣勢が続いている。そんな中、岡崎高校は全国の公立高校での東大合格者ランキングでこの十数年、5年連続を含めトップになったことが9度もある。

2013年は①浦和高校46人(埼玉県立・全体では11位)、②西高校34人(東京都立・16位)で、岡崎高校は32人だった。コーラス部が誇り



渡辺捷昭

大野球部監督などをした。陸上競技では市川宗一郎が早稲田大に進学し、長距離選手として活躍した。12年正月の箱根駅伝では、早大チームのアンカーとして力走した。経済界では、トヨタ自動車の第6代社長や副会長をした渡辺捷昭が卒業生である。世界第1位の自動車メーカーになるべく拡大路線をとったが、前線を広げすぎたとして豊田家との関係が悪化し会長に就任することなく09年に退任した。

ベンチャー企業の経営者もいる。芦田信は、バイオ医薬品や医療用機器の製造販売会社であるJCRファーマを創業し、東証1部上場企業に育てた。現在、会長兼社長をしている。小澤素生と弟の小澤洋介は、2人とも日本の大学を卒業後に米国の大学院へ留学した。兄素生は、父が創業した目に関する製品を扱うニテック社長になり、弟の洋介はニテックの新規事業である再生医療のJ-TEC社長をしている。小澤洋介と同期の板谷敏正は清水建設の社員だったが、社内ベンチャー制度を活用して不動産管理業務を支援する



芦田 信

学芸部長を、築瀬悠紀夫が名古屋銀行頭取を、大林市郎が岡崎信用金庫理事長をしている。学芸部長を、築瀬悠紀夫が名古屋銀行頭取を、大林市郎が岡崎信用金庫理事長をしている。

クラウドサービスのプロパティイデータバンクを設立、その代表をしている。同社は09年に、優れた経営戦略を実行している企業に与えられるポーター賞を受賞している。小澤や板谷の10期後輩の松尾直樹は東大法学部に進学、在学中に医学部の友人と、「ビジネスを生み出す工場となる会社」であるネットワークインフォメーションセンターを創業し、現在、その子会社などの代表をしている。「1回きりの人生。三河武士ではないが、倒れるなら前を向いて倒れよう」というのが信条である。文化勲章の受賞者が2人いる。ダーウィンメダルなど内外から多数の賞を受けた遺伝学者の木村資生と、商法学者で最高裁判事をした法曹界の重鎮・大隅健一郎である。



杉浦ひとみ

農業経済学の近藤康男、生物時計の研究者である近藤孝男、生化学が専門で白血病ウィルスの研究をしている牧正

敏、アルカロイド類合成の第一人者である有機化学の福山透、数理解画法の大山達雄、加齢医学の大石充もOBである。建築家の天野彰は、住宅のリフォームを熱心に提案している。仏教考古学者で奈良国立博物館館長をした石田茂作は、法隆寺再建説を実証した。シンセサイザー音楽作曲家の富田勲は、岡崎高校から私立慶応義塾高校(神奈川県)に転校した。テレビドラマ、アニメ、映画音楽など膨大な作品を世に送り出している。指揮者の大河内雅彦もOBである。

才能があるうえに努力もした女性の卒業生を紹介しよう

小説家では「人生劇場」の尾崎士郎が著名である。岡崎高校に記念碑が設置されている。

「幻の修学旅行」というエピソードがある。岡崎高校2年生は59(昭和34)年9月27日に修学旅行が予定されていたが、前日に愛知県を襲った伊勢湾台風のために修学旅行は中止された。そこで、61(昭和36)年卒の経営コンサルタント・藤田訓弘の発案で、09年から毎年9月27日に同期の有志が集ってバス・ツアーを続けている、というのである。(猪熊建夫・ジャーナリスト)(敬称略、会社名・肩書などは当時。次回は東京都立立川高校)

# 名門高校の校風と人脈

81

## 岡崎高校 (愛知県立・岡崎市)

### 毎年30〜40人の東大合格者 トヨタ社長や起業家も多数

東京大合格者を毎年、30〜40人出している高校である。私立や国立の中高一貫校が上位を占め、都道府県立や市区立のいわゆる公立高校は、東大入試で劣勢が続いている。そんな中、岡崎高校は全国の公立高校での東大合格者ランキングでこの十数年、5年連続を含めトップになったことが9度もある。

た。公立高校で3位、全体では17位だった。東大だけではなく、京都市大(13年は19人)や地元の名古屋大(52人)にも安定して合格者を出している。東京工業大と一橋大は、各2人だった。岡崎といえば徳川家康生誕の地として知られるが、岡崎高校の通学エリアには岡崎市だけではなく豊田市、安城市、みよし市なども含まれる。日本最大の企業集団であるトヨタ自動車グループの社員がたくさん居住している街である。

研究所、生理学研究所など大学共同利用機関も立地している。博士号を持つ研究者がたくさんいる。トヨタグループや国立研究所に勤める高学歴の社員や学者・研究者の子どもが、岡崎高校に集まってきた。それに愛知県下には有力な国立大学付属高校がない。岡崎高校が難関大学への進学で安定した実績を続けている背景が、これで説明できる。

校歴はシンプルである。1896(明治29)年に愛知県第二尋常中学として開校し、その後、岡崎中学に改称された。戦後に男女共学の新制岡崎高校となった。現在では、全日制の在籍生徒は計1100人弱で、男子3・女子2の比率である。高3では理系3・文系2の割合である。「たかい知性、ゆたかな情操、たくましい心身を兼ね備えた国家・社会の有為な形成者を育成する」というのが教育目標である。授業、学校行事、部活動を教育活動の3本柱として重視し、これらを徹底して行うことが岡崎高校の特色となっている。「文武両道」であることは、もちろんだ。

特にコーラス部が誇りだ。卒業生を中心に組織されている岡崎混声合唱団もできている。合奏オリンピック青年混声部門で、金メダルを受賞し世界一に輝くなど多くの賞を受賞している。